

授業概要

本授業では、心理学をはじめとするあらゆる学問で活用される統計学の基盤となる知識について学ぶ。心理学統計法Ⅰにおいては、心理学研究と統計の関係について解説した上で、データの特徴の読み取り、データを要約する記述統計、確率論的に一般可能な知見を得る推測統計の手法、t検定などの心理統計の基礎的な知識とスキルについて講義する。本授業を通して、心理統計に関する基礎的な理解を進めるとともに、t検定などの具体的な統計手法について、実際の心理学研究の中で活用できるようになることを目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：授業の目的と概要について、心理統計法の意義
第 2 回	データの性質
第 3 回	記述統計①：尺度水準
第 4 回	記述統計②：代表値、散布度
第 5 回	記述統計③：標準得点と偏差値
第 6 回	2 変量間の関係：相関係数
第 7 回	推測統計の基礎①：母集団と標本
第 8 回	推測統計の基礎②：正規分布と標本分布
第 9 回	統計的仮説検定の基礎①：帰無仮説と対立仮説
第 10 回	統計的仮説検定の基礎②：統計的仮説検定の手順
第 11 回	2 つの平均値の比較①：t 検定
第 12 回	2 つの平均値の比較②：独立な 2 群の平均値差に関する t 検定
第 13 回	2 つの平均値の比較③：対応のある 2 群の平均値差に関する t 検定
第 14 回	クロス集計表と χ^2 検定
第 15 回	内的妥当性と外的妥当性
第 16 回	定期試験（筆記試験）

到達目標

1. 基本的な統計の用語を理解し、身に着けた知識を自らのことばで説明できるようになる。
2. データを要約し、適切に表現する記述統計の知識やスキルを活用することができる。
3. 各種分析の基本的な手法およびデータの意味を適切に理解することができる。

履修上の注意

- ・毎回の授業の最後に簡単な小テストを実施します。ルートの計算ができる電卓を用意してください。
- ・出席状況の基準を見たまさない場合は、定期試験を受けることはできません。
- ・授業中の私語やスマホの利用（電卓としての利用以外）は禁止します。

予習・復習

- ・授業内容の該当ページに事前に目を通しておいください。関連するトピックやわからない点は事前に調べ、疑問点があれば授業内外で質問を受け付けます。
- ・授業内容は各自しっかりと復習し、知識として定着させることを意識してください。強制ではありませんが、講義ノートを作成することをお勧めします。

評価方法

定期試験（50%）、小テスト（30%）、授業への参加態度（20%）を総合的に評価する。

テキスト

- 「よくわかる心理統計」（山田剛志・村井潤一郎）
- ・教科書名：よくわかる心理統計
 - ・著 者 名：山田剛志・村井潤一郎
 - ・出版社名：ミネルヴァ書房
 - ・出 版 年（ISBN）：2004 年（9784623039999）